

館山市の

台所事情

～ 平成23年度 決算版 ～

市の決算や財政状況について、分かりやすく説明します。



決算とは	-----	3 P
決算の種類や規模	-----	4 P
収入の種類と金額	-----	6 P
支出の種類と金額	-----	10 P
決算を家計に例えると	---	13 P
決算の他団体との比較	---	14 P
市の借金と貯金	-----	16 P
各種財政指標	-----	18 P
行財政改革の取組み	---	21 P
主な事業と決算額	---	24 P



『館山市の台所事情』発行にあたり

この『館山市の台所事情』は、平成20年度決算から、多くの市民の方々に「館山市の財政状況」や「税金の使われ方」について理解を深めてもらいたいという思いから作成しています。

今回は、これまでの『館山市の台所事情』に「他自治体との比較」や「平成23年度に実施した主な事業」などを追加し、リニューアルして発行します。

充実したい行政サービスは、たくさんあります。しかし、国・地方とも、長引く景気低迷と東日本大震災や福島第一原発事故の影響による税収の伸び悩みや、高齢化の進展などに伴う社会保障関係経費の増大、生産年齢人口の減少による地域経済の活力低下など、非常に厳しい財政状況にあり、限られた財源のなかで、より効率的な行政サービスを提供することが求められています。

“効率的な行政サービスを提供するためにはどうすれば良いのか”を議論するためにも、市民の皆さまに、現状の税金の使われ方や財政状態を理解していただき、今まで以上に市政に関心をもってもらえるよう、この『館山市の台所事情』がその一助となればと思います。

「ここがわかりにくい」「この分野をもっと知りたい」など、たくさんのご意見やご質問をいただくと次回以降の改善に大きく役立ちますので、皆さまからのご意見をお待ちしております。

平成24年 9月
館山市長 金丸 謙一



1 決算とは？ 決算にはどんな意味があるの？

❓ 決算とは何ですか？

- ④ 館山市に1年間（4月から翌年の3月まで）に入ってきた収入と、その収入を何のために使ったのか（支出）の実績を、市議会・市民の皆さまに明らかにすることが決算です。

決算は6月から7月にかけて取りまとめを行い、例年9月の議会にて審議されます。



▼ 予算

決算の対義語は予算です。予算とは、1年間の収入を見積もり、どのような事業にどれくらい使う予定（行政サービスの内容）であるのかを示した計画のことであり、予算に基づく執行結果が決算です。

❓ 決算にはどんな意味があるの？

- ④ 予算は、年間の行政サービスの予定であるのに対し、決算は行政サービスの実施結果ですので、市民の皆さまが実際の生活体験から得た行政サービスが金額として公表されたものです。

したがって、決算の内容に対する市民の皆さんの率直な意見が、行政サービスをより一層効率的・民主的なものに変え、住民福祉の向上につながると考えられます。



また、決算では、年間収支（収入総額－支出総額）により、どの程度の剰余金（民間企業での黒字額）が出たのか、市の借金や貯金額はどの程度なのか、他の市町村と比較し財政状態はどのようになっているのか、などが分かります。



次ページ以降で、市の財政状況について説明していきます。

難しい言葉も出てきますが、分かり易いよう、イラストやグラフを使い工夫してみましたので、最後までご覧になって下さい。



2 市の会計の種類と決算額について

? どんな会計があるの？

- ㊤ 市の会計は、どの収入がどんなことに使われるか、収入と支出の関係をはっきりさせるため、一般会計と特別会計に区分しています。



用語解説

- ▼ 一般会計
教育、福祉、道路整備など市の基本的な行政サービスを行う会計（予算の中心）です。
- ▼ 特別会計
国民健康保険税や下水道使用料など、特定の収入で、特定の事業を行う場合に設ける会計です。

? 特別会計の中身を教えて？

- ㊤ 館山市では、以下5つの特別会計があります。



- ▼ 国民健康保険会計
国民健康保険加入者の疾病、負傷、出産などの費用の一部を負担します。加入者の皆さまの国民健康保険税などを財源としています。
- ▼ 後期高齢者医療会計
後期高齢者医療制度に基づき、保険料の徴収・届出受付などの事務を行っています。保険料の決定・医療の費用負担などは、千葉県後期高齢者医療広域連合が行っています。
- ▼ 介護保険会計
介護を必要とする人へ、各種介護サービスを行っています。介護保険料と国・県・市の負担金で運営されています。
- ▼ 下水道事業会計
下水道使用料、受益者負担金及び一般会計からの繰入金などを財源とし、鏡ヶ浦クリーンセンターの維持管理、下水管整備などを行っています。
- ▼ 学童災害共済事業会計（※平成24年度から一般会計へ編入）
児童・生徒が学校管理下外で災害にあった場合、共済見舞金を支出します。加入者の掛金や市の負担金で運営されています。



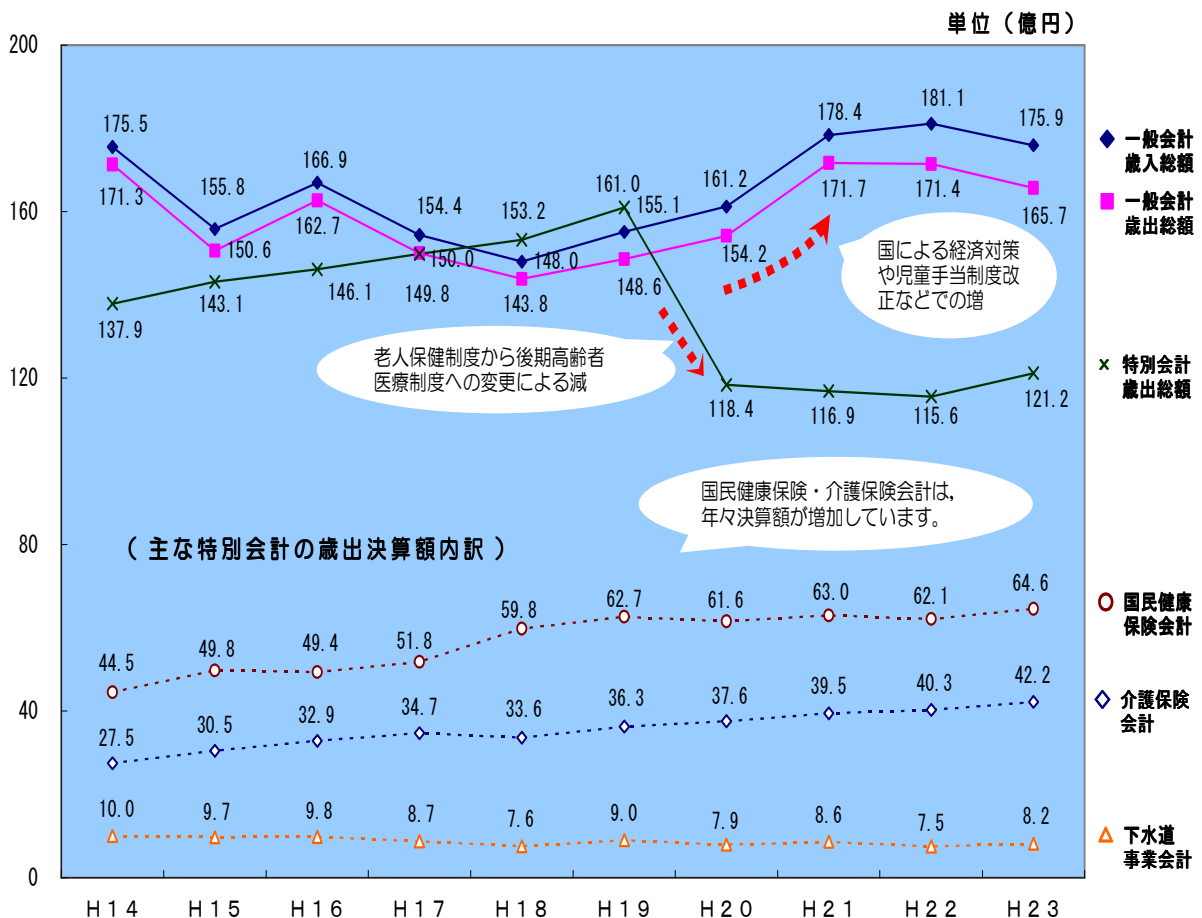
❓ 平成23年度決算額は？

㊤ 一般会計と特別会計の決算額は以下のとおりです。

会計種別		歳入	歳出	差引額
一般会計		175億9,460万円	165億6,854万円	10億2,606万円
特別会計	国民健康保険	67億2,956万円	64億6,123万円	2億6,833万円
	後期高齢者医療	6億1,884万円	6億1,569万円	315万円
	介護保険	43億563万円	42億2,434万円	8,129万円
	下水道事業	8億4,847万円	8億2,273万円	2,574万円
	学童災害共済事業	87万円	87万円	—
	特別会計（小計）	125億336万円	121億2,485万円	3億7,851万円
合計		300億9,796万円	286億9,339万円	14億457万円

❓ ここ数年の決算額の推移は、どうなっているの？

▼ 一般会計・特別会計の決算額の推移（過去10年間）

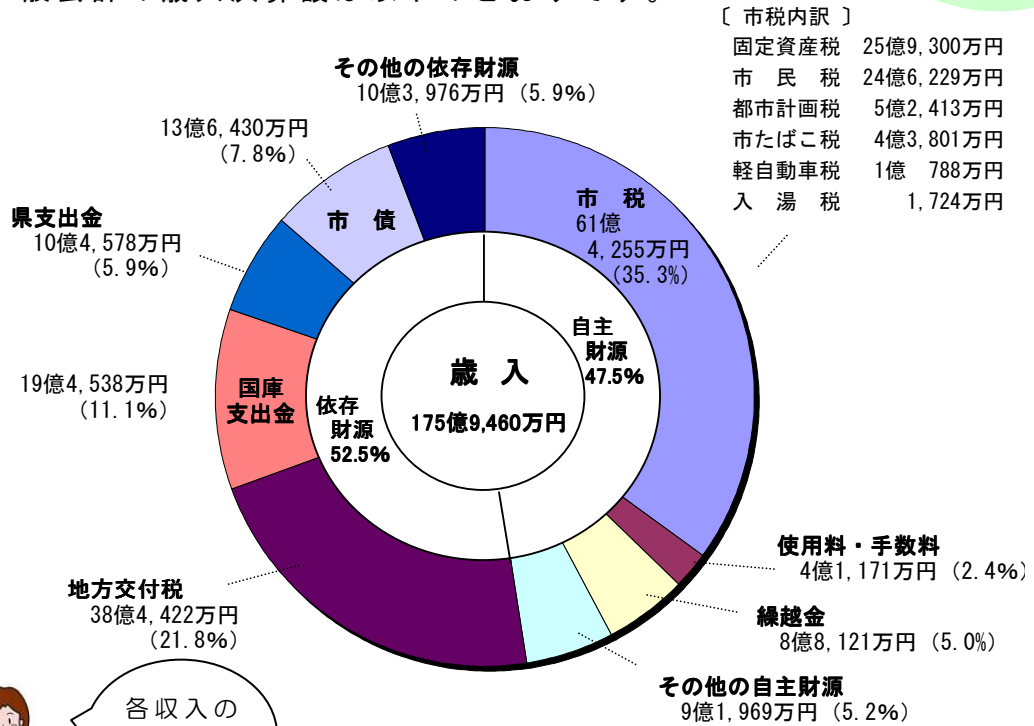


3 収入（歳入決算額）の種類と金額について

歳入編

① 収入の種類と金額を教えてください？

④ 一般会計の歳入決算額は以下のとおりです。



各収入の説明です

項目	説明	具体例
市 税	皆さまから市に納めていただいた税金です。	8ページ参照
使 用 料 手 数 料	市の施設利用や証明書類の発行時にいただいているお金です。	公民館使用料 住民票発行手数料など
繰 越 金	前年度決算における剰余金です。	
そ の 他 の 自 主 財 源	特定事業に必要な経費の一部を負担金として納めていただくお金などです。	保育園の保育料 がん検診徴収金など
地 方 交 付 税	全国の地方公共団体が、一定レベルの行政サービスが出来るよう国から交付されるお金です。	
国 庫 支 出 金 県 支 出 金	特定事業の経費の一部として、国や千葉県から交付されるお金です。	児童手当負担金 選挙費用委託金など
市 債	公共施設（道路や学校など）の建設や改修をする際に国や銀行などから借りるお金です。	
そ の 他 の 依 存 財 源	皆さまが国や県に納めた税金の一部が、地方に譲与されるお金などです。	地方消費税交付金 地方譲与税など

❓ 自主財源・依存財源とはどういう意味なの？

㊤ 自主財源とは、市が自主的に調達できる収入のことです。家計に例えると、給与や臨時収入、貯金の取崩しにあたります。

一方、依存財源とは、国・県から交付される収入や、市債（借金）収入などのことで、家計に例えると、親や親類などからの援助や、生活ローンにあたります。

自主財源の比率が高いほど、財政が安定し自主的な財政運営ができると言えます。

▼ 各団体の自主財源比率

館山市	… 47.5%
県内市平均	… 53.9%
県内類似団体（※）平均	… 39.4%
南房総市	… 24.6%
鴨川市	… 34.3%

※ 類似団体の説明は14ページを参照して下さい。

（館山市はH23決算、館山市以外の数値はH22決算数値を引用しています）



参考情報

❓ どうして借金（市債の借入）をするの？

㊤ 市では、道路や学校など公共施設を整備するときに、国や銀行からお金を借りています。理由は大きく2つあります。

1点目に、公共施設の整備には、多額の費用がかかるため、1度に支出するには負担が大きいためです。借入により分割で返済することによって、その年の支出を少なくすることができ、他の事業にも取組むことができるからです。家計に例えると住宅ローンにあたります。

2点目に、将来にわたり利用される公共施設は、整備した年に住んでいる人だけが負担するのではなく、将来住む人にもその借金の返済を負担していただくことで、市民の皆さまの負担を公平にできるためです。

後ろの16ページで、市の借金（市債）残高や、貯金（基金）の状況について説明しています。ご覧になって下さい。



❓ 市税収入について、詳しく教えてください。

㊤ 市民の皆さまが、直接館山市に納めていただく税金は、合計7種類あります。詳しい説明は以下のとおりです。

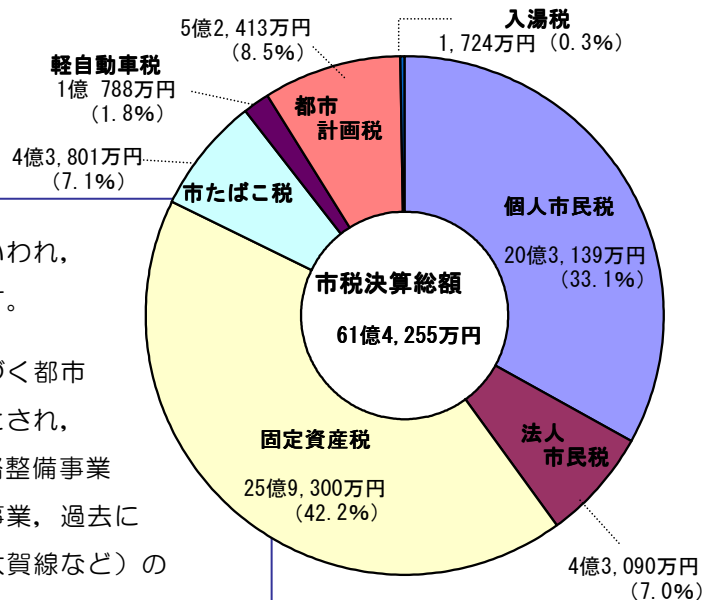
項目	説明	種類
個人市民税	市民の皆さまから、給与などの所得を基準に納めていただく税金です。	普通税
法人市民税	市内に事業所などを有する会社が、収益などを基準に納める税金です。	普通税
固定資産税	市内に土地・家屋および償却資産を所有している方が、その固定資産の価格をもとに算定される税額を納めていただく税金です。	普通税
市たばこ税	たばこの製造業者や卸売販売業者などが、市内の小売販売業者に売り渡した「たばこ」に対して課されるものです。皆さまが購入するたばこの代金の中に税金が含まれています。	普通税
軽自動車税	軽自動車や原動機付自転車などを所有している人に、納めていただく税金です。	普通税
都市計画税	都市計画法による都市計画区域内（館山市は市内全域が指定）にある土地・家屋に対してかかる税金です。	目的税
入湯税	鉱泉浴場における入浴に対し課税されます。	目的税



都市計画税と入湯税は目的税といわれ、使いみちが定められている税金です。

都市計画税は、都市計画法に基づく都市計画事業に要する費用に使うこととされ、平成23年度は、船形館山港線道路整備事業（鏡ヶ浦通り）や公共下水道整備事業、過去に実施した都市計画事業（市道青柳大賀線など）の市債返済費用などに充てられました。

入湯税は、観光振興事業や消防施設整備などに要する費用に使うこととされ、観光イベントや消防車両の購入費用などに充てられました。

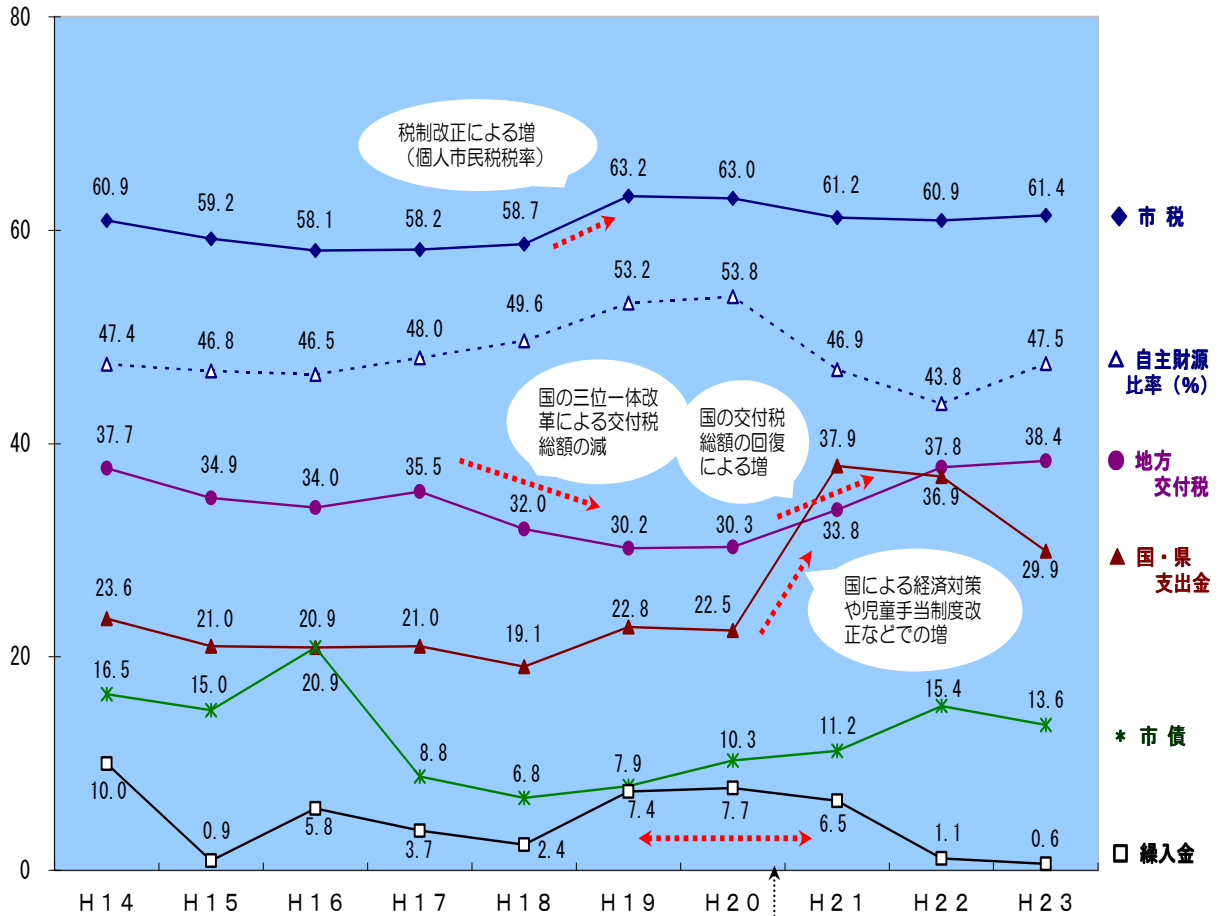




歳入決算の推移はどうなっているの？

▼ 歳入決算額の推移（過去10年間）

（単位：億円）



特徴と傾向を
説明します

交付税の減少などにより、
基金取崩し（繰入金）が増

市税収入は、平成19年の税制改正により増加しましたが、その後は、長引く景気低迷や生産人口の減少などにより、落ち込んでいます。

地方交付税は、国の交付税総額に左右され年度間の変動がありますが、近年は増加傾向にあり、平成23年度決算額は、過去10年間において最大額となりました。

国・県支出金は、国の制度改革や市の実施事業に関連し、年度間の変動が大きくなりますが、近年は、国の経済対策や児童手当制度改正などにより増加しています。

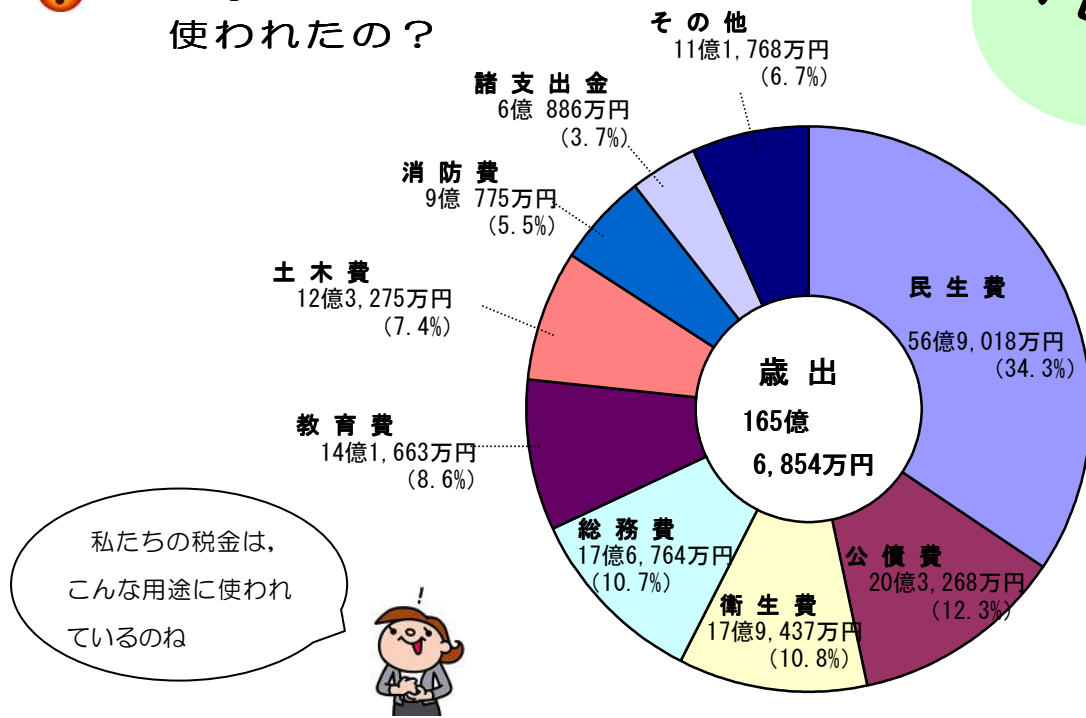
平成19～21年度においては、貯金の取崩し（※ 財政調整基金繰入金）が多くなりましたが、平成22～23年決算は、貯金の取崩を行わず、その年の収入で支出を賄うことが出来ました。



4 支出（歳出決算額）の種類と金額について

歳出編

? どんなことに使われたの？

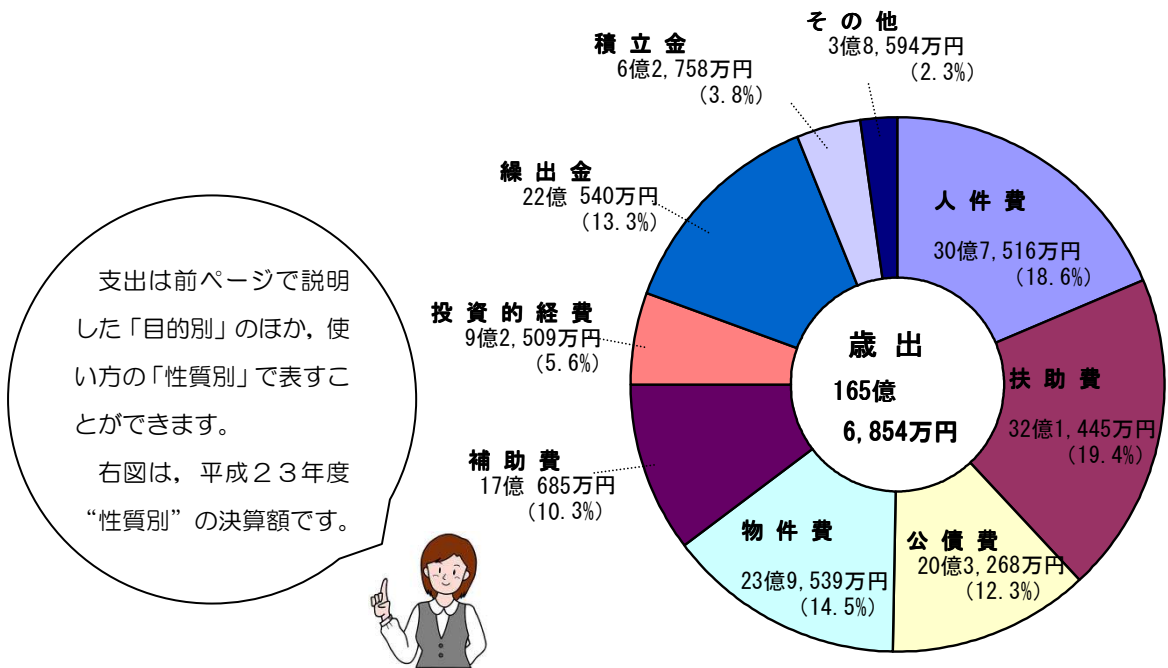


私たちの税金は、こんな用途に使われているのね



目的名称	具 体 例
民生費	福祉の推進のため (生活保護、障害・介護、子育て関連経費など)
公債費	市債借入金の返済費用(元金・利息)
衛生費	清掃関連(ごみ処理経費), 医療関連(予防接種など), 上水道整備費用など
総務費	防災関連(防災行政無線整備など), 地区コミュニティ費用・その他一般的な事務費用
教育費	教育(学校整備や給食事業など), 文化振興(博物館運営など), スポーツ振興など
土木費	道路・橋梁・河川整備や 下水道整備事業に対する繰出金など
消防費	救急救命や消防活動事業など
諸支出金	基金(財政調整基金など)への積立費用として
その他	農業・水産業・観光業・商工業の振興や 災害関連経費, 議会経費など

市職員の人件費などは、どのくらいなの？



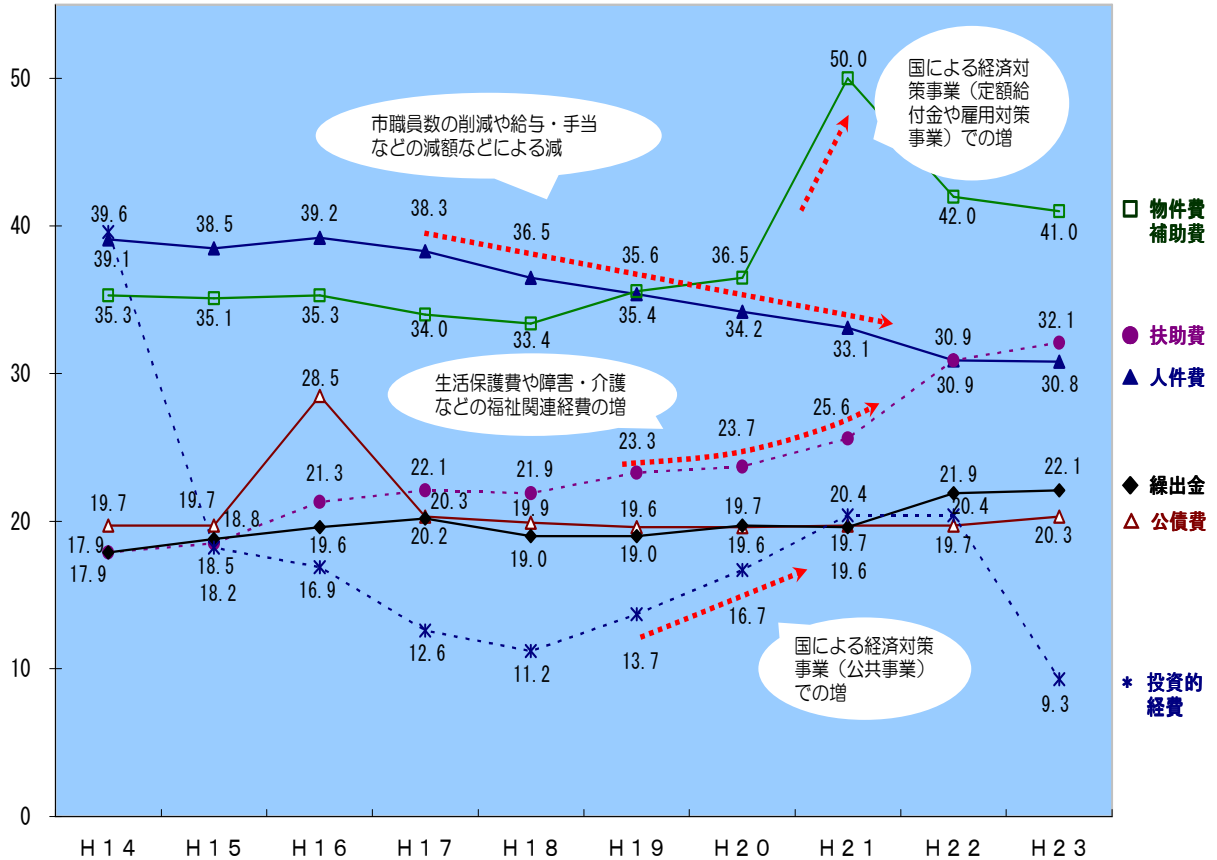
性質名称	説明・具体例	
人件費	市長や市議会議員，市職員の給料・手当，各種委員や消防団員への報酬などの費用	
補助費	生活困窮者や障害者，子育てなどの生活をサポートするための費用（生活保護費，障害者・乳幼児医療費，児童手当など）	
公債費	借金（市債）の返済費用（元金・利息）	
物件費	光熱水費，事務用機器のリース代，消耗品購入費，業務委託費用，非常勤職員の賃金など消費的な性質をもつ経費	
補助費	各種団体活動への補助金（老人クラブ補助・観光団体補助など）や，各種連合組織への負担金（安房郡市広域市町村圏事務組合）などの費用	
投資的経費	道路・学校などの公共施設の改修費用や災害による施設復旧費用など，将来も資産となって残るものに対する支出	
繰出金	特別会計（国保・介護など）の運営を補うため，一般会計から支出する経費	
積立金	基金（財政調整基金など）への積立費用	
その他	施設の維持補修費や他団体への貸付金・出資金など	



歳出決算の推移はどうなっているの？

▼ 歳出決算額の推移（過去10年間 ※性質別）

（単位：億円）



特徴と傾向を
説明します

人件費は、職員数の削減や職員給与の減額（3～5%）、各種手当の廃止・削減などにより、右肩下がりで減少しています。

扶助費は、生活保護費や障害・介護などの福祉関係費用、児童手当の制度改正などにより、右肩上がりが増加し、平成22年度からは市の性質別歳出の中で、一番多額の支出となっています。

物件費・補助費は、市の事業を民間委託事業へ移行したことや国の経済対策に伴う雇用対策事業などの増加により、近年増加傾向にあります。

繰出金は、高齢者人口の増加などに伴う介護保険の給付費増加などにより、増加傾向となっています。

このように、年々増加する扶助費や繰出金などの社会保障関係経費を、人件費の削減で対処している状況が見て取れます。



5 決算を家計に例えてみましょう

家計簿

たてやま家 1ヶ月の家計簿

一般会計決算（歳入）を
家族の総収入 500 万円
（1ヶ月 41 万 7 千円）の
家計に例えて説明します



給与収入は、年間
236 万円となり
総収入の半分以下
となっています。

《 収 入 》

給与	19.7 万円
〔 世帯主 給与 （市税収入） パート 収入 （使用料など） 〕	〔 14.6 万円 5.1 万円 〕
貯金の取崩し （基金繰入金）	0.1 万円
親からの援助 （地方交付税や国県支出金など）	18.7 万円
銀行からの借入	3.2 万円
（ 合 計 ）	41 万 7 千円

《 支 出 》

食費（人件費）	7.3 万円
教育費・医療費（扶助費）	7.6 万円
ローンの返済（公債費）	4.8 万円
光熱水費・消耗品購入 （物件費）	5.7 万円
地区会費やサークル活動費 （補助費）	4.0 万円
家のリフォーム費用 （投資的経費）	2.2 万円
子どもへ仕送り（繰出金）	5.2 万円
貯蓄や知人への貸付費用 （その他）	2.4 万円
（ 合 計 ）	39 万 2 千円

～～ たてやま家の 1 年間を振り返り ～～

ローンを毎月 4.8 万円返済する一方、新たな借入は 3.2 万円に抑え、借金残高を減らしてきました。

また、食費（人件費）を切り詰め、家のリフォーム費用（投資的経費）を最小限にとどめるなどの節約に努め、毎月 2.5 万円の剰余金（黒字）を出しました。

※ 黒字額は年間 30 万円（実額で 10 億 2,606 万円）となり、次年度予算にて基金への積立（貯金）を行いました。

1 年間やり繰り
できたゾ！



6 決算における他団体との比較

比較

❓ 他の市と決算規模を比べると、多いの？少ないの？



- ㊦ 決算の規模は、おおよそ人口に比例します。住む人が多くなると、多くの税収が入るとともに、かかる行政サービス費用も増えるためです。よって、他市の状況との比較を行う場合には、人口規模や産業構造が同程度の団体と比較することが必要となります。

以下の図は県内類似団体や近隣市と市民一人あたりに使われた歳出決算額を比べたものです。

▼ 類似団体

国の統計区分で、市町村を人口規模や産業構造により細分化して分類したものです。

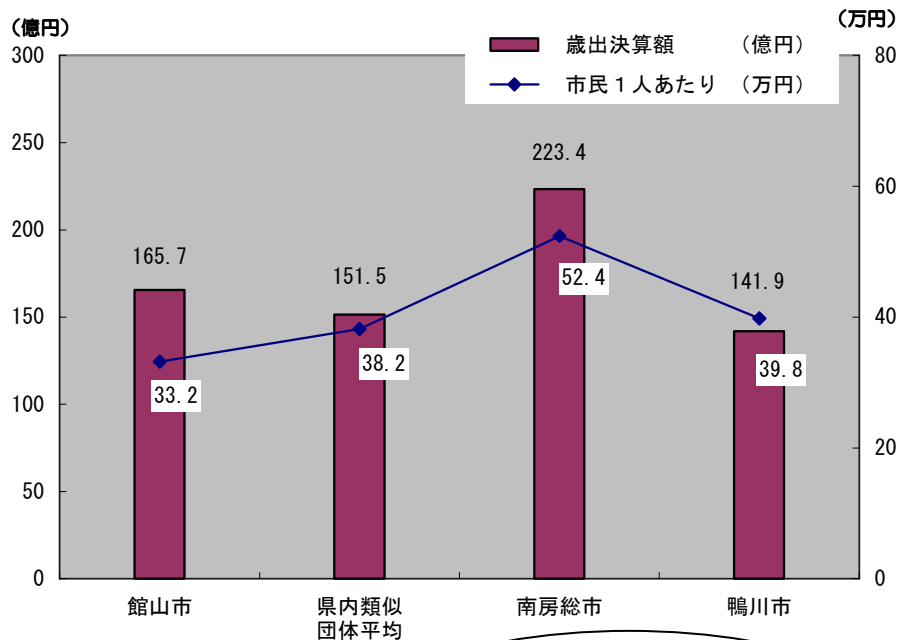
館山市と同じ分類は、県内で勝浦・鴨川・富津・富里・南房総・いすみ・匝瑳の7団体です。

▼ 普通会計

市町村ごとに会計の範囲が異なるため、総務省が全国自治体の財政状況を比較するため定めた、財政上の区分です。

館山市では一般会計と学童災害共済事業を合わせたものが普通会計となります。

▼ 普通会計歳出決算額と市民1人あたりに使われた決算額（歳出）の比較



館山市は、市民1人あたりに使われた決算額（歳出）が少なくなっています。なぜでしょう！？
次のページで分析してみました。



歳入・歳出決算額の
主な項目を、人口で割
ることにより市民1人
当たりの金額として表
してみました。



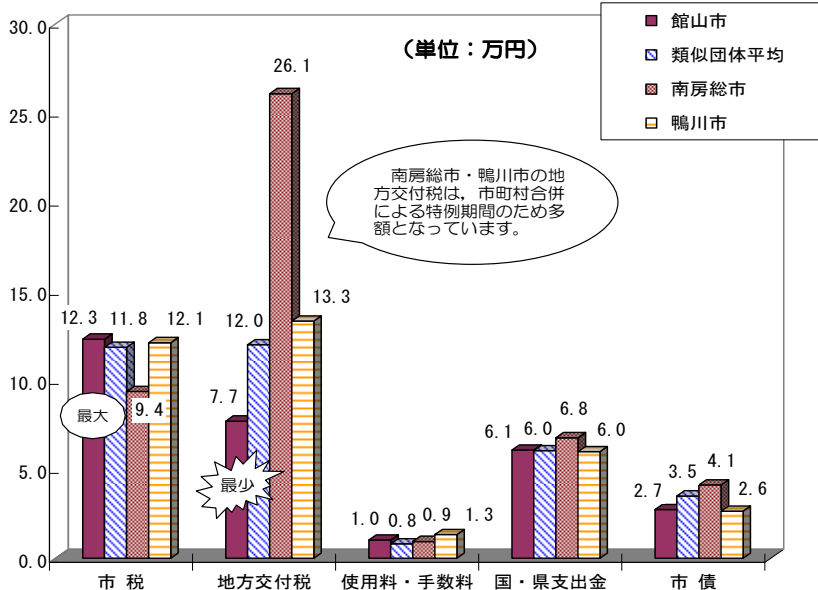
解 説

歳入では、市税収入が最大となっているものの、地方交付税や市債（借金）が少なくなっています。一方で、使いみち（歳出）を見てみると、人件費・投資的経費（公共事業）が最少となっていますが、扶助費・繰出金の社会保障関係経費への使いみちが最大となっています。

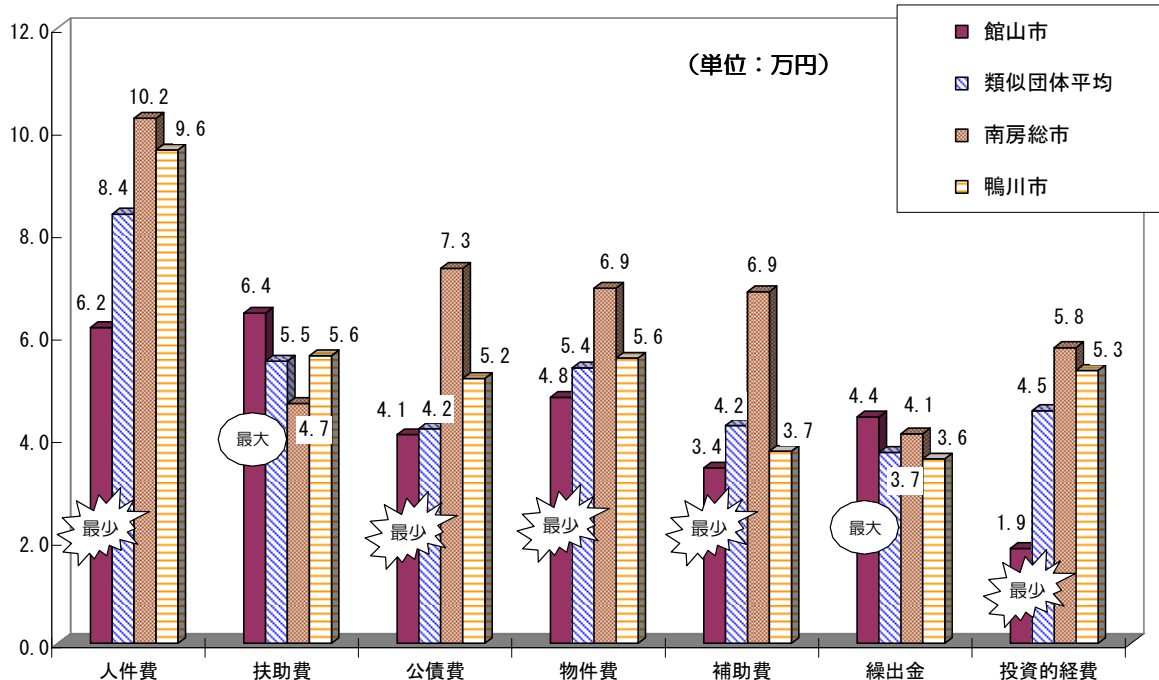
以上のことから、他団体と比較して、

- 1 借金（市債）を少なくし、公共事業（投資的経費）を抑えてきた
- 2 人件費を抑制し、扶助費などの社会保障関係への費用は手厚く支出している
ことなどが考えられます。

▼ 市民1人当たりの歳入決算額の比較



▼ 市民1人当たりに使われた歳出決算額の比較（性質別）



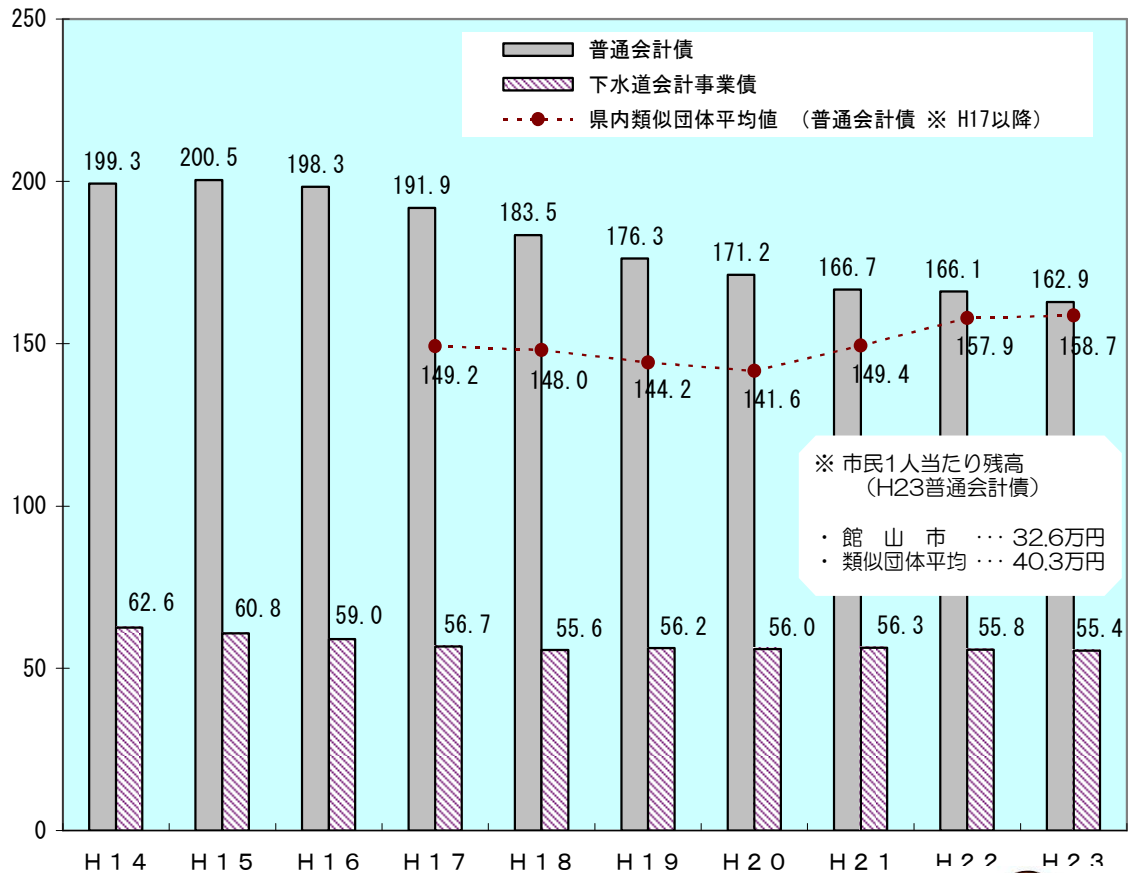
7 市の借金（市債残高）と貯金（基金残高）の状況

借貯金

？ 市の借金は、どのくらいあるの？

▼ 市債残高の推移及び県内類似団体との比較

(単位：億円)



市債残高の特徴と傾向

市債には、財源確保の目的と、将来にわたって利用される公共施設（道路・下水道・教育施設など）の整備費用について、世代間の負担を調整する役割があります。

市の借入残高（普通会計債）は、平成15年度末の約200億円をピークに年々減少傾向です。

また、館山市の市債残高は年々減少しているのに対し、類似団体平均はやや増加傾向にあることや、市民1人当たりの残高は、類似団体平均値よりも館山市の方が、少なくなっていることが分かります。

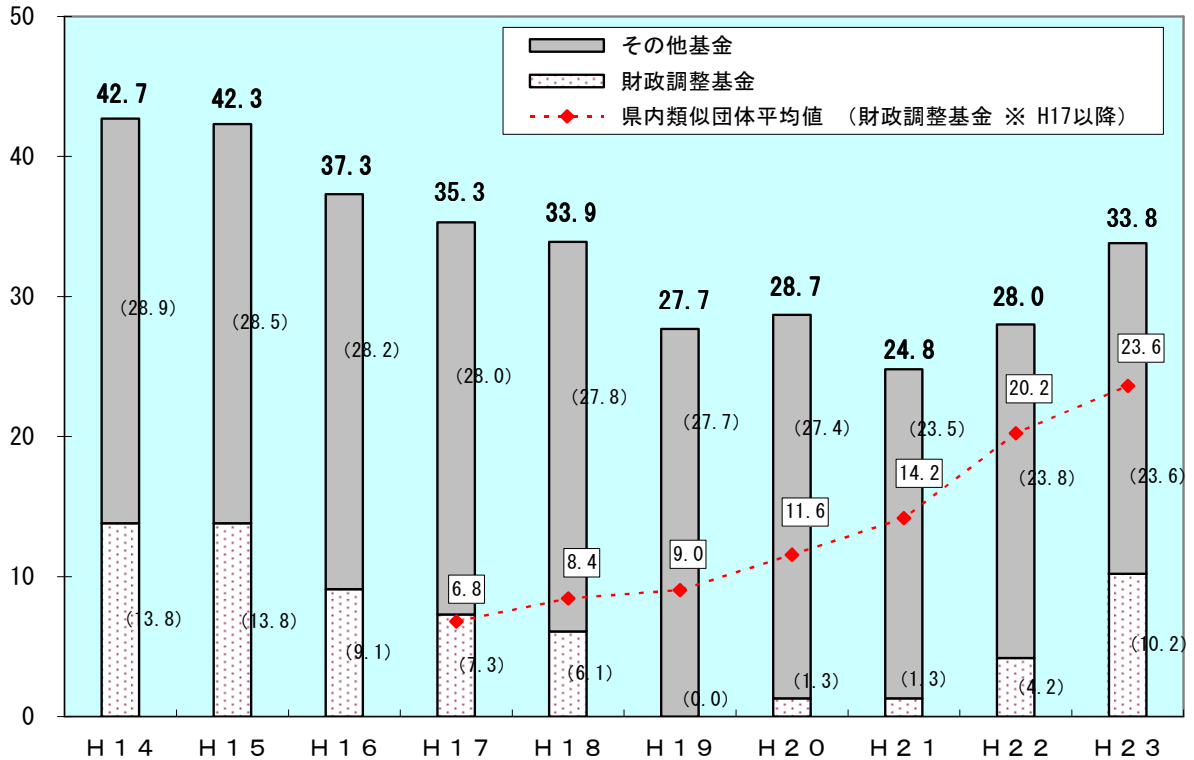
館山市では、近年の低迷する経済情勢の中、将来の負担をできるだけ抑えることで、健全な財政運営が保てるよう、新たな借り入れを抑制してきたためです。



市の貯金は、どのくらいあるの？

▼ 基金残高の推移及び県内類似団体との比較

(単位：億円)



※ 市民 1 人当たり残高
(H23 財政調整基金)

- ・ 館山市 …… 2.1 万円
- ・ 類似団体平均 …… 6.1 万円



基金残高の 特徴と傾向

市には、特定の目的のため積立てを行う基金や定額の資金を運用するための基金などがあります。基金の中でも、財政調整基金は、急激な税収の落ち込みや災害などの不測の事態に備えるためのものです。

館山市の財政調整基金は、平成 15 年度に約 14 億円の積立額がありましたが、地方交付税の削減などの影響により年々基金を取崩し、平成 19 年度決算では、128 万円の残高まで落ち込みました。その後、「行財政改革による効果」や地方交付税の増などにより積立てを行い、平成 23 年度末では 10.2 億円まで回復しました。

なお、県内類似団体平均の財政調整基金残高と比較すると、館山市の残高は少ないことが分かります。今後とも、行財政改革による歳出削減及び歳入増加を推進し、不測の事態に即応可能な適正な基金の保有に努めていきます。

8 決算から分かる各種財政指標について

財政指標

❓ 市の財政状況を表す指標は、
どんなものがあるの？

- ⓐ 各種財政指標は、自治体の財政状況を判断する目安です。様々な指標がありますが、主なものをご紹介します。

財政力指数

自治体の財政力を示す数値です。数値の高い方が財政力の強い自治体であり、1.0 を超える自治体は、市税など標準的な収入で標準的な行政サービス経費を全て賄える（＝地方交付税が不交付となる団体）団体です。

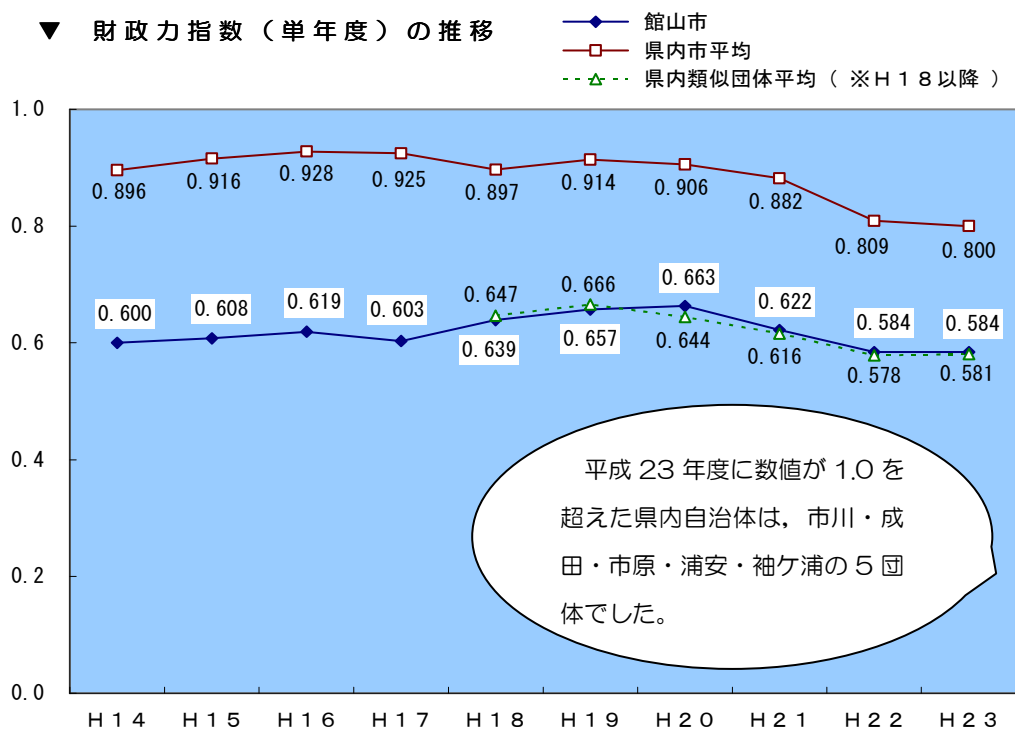
（算定式＝基準財政収入額 ÷ 基準財政需要額）

（館山市H23 数値：0.584＝49億343万円 ÷ 83億8,913万円）

※ 基準財政収入額 …… 自治体が自由に使うことのできる収入額（一般財源）のことで、市税収入額の75%と、譲与税（地方消費税交付金など）などの税外収入の75%（一部100%）の合算額です。

※ 基準財政需要額 …… 標準的な行政活動を行うために必要な経費の金額です。人口や面積、道路や公園、公共施設数などにより、国の基準で算定した館山市の最低限必要な経費といえます。

▼ 財政力指数（単年度）の推移



経常収支比率

自治体の財政構造の弾力性（＝自治体が自由に使えるお金が多くあること）を示す指標で、自由に使える経常的な財源（市税などの一般財源）が、経常的に支出される経費（人件費・扶助費・公債費など）にどれだけ充てられたかを表します。

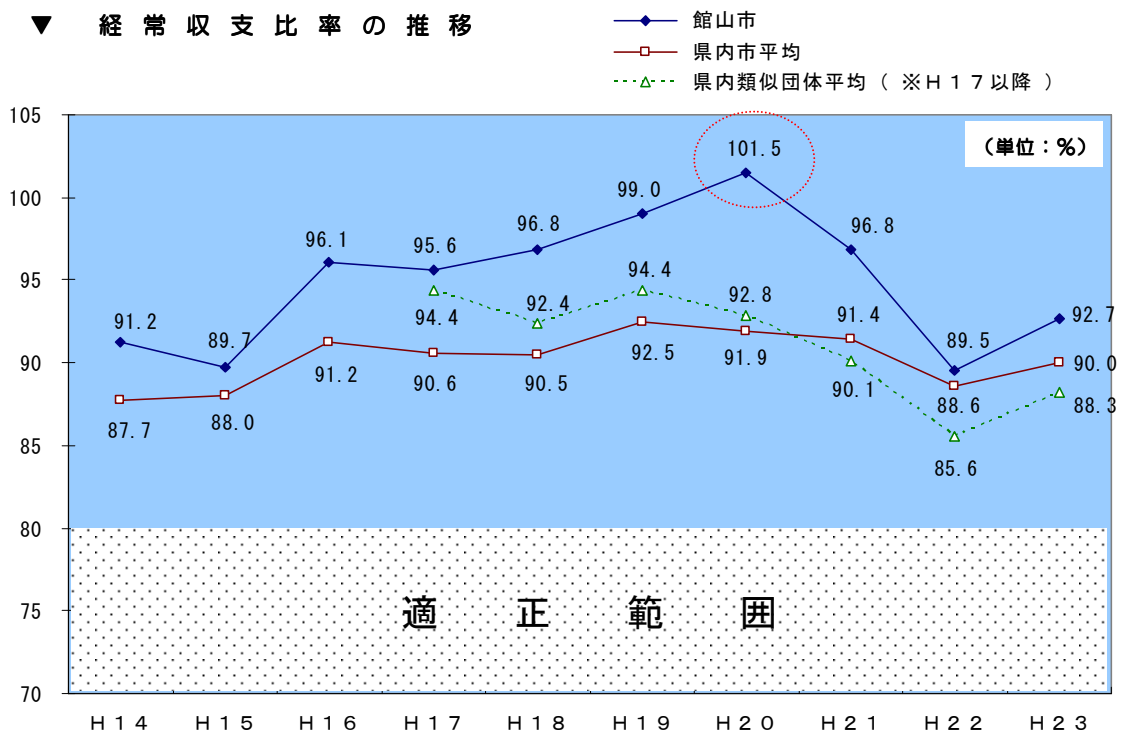
家計に例えると、食費・医療費・ローン返済費用など固定経費の支払が、毎月の給料に占める割合であり、数値が高いほど、家計（＝財政）のやり繰りが苦しいということになります。

（算定式＝経常経費一般財源 ÷ 経常一般財源）

（館山市 H23 数値：92.7%＝101 億 2,855 万円 ÷ 109 億 2,649 万円）

※ 望ましいとされている比率は、70～80%とされておりま

▼ 経常収支比率の推移



市では、市税などの経常的な収入の減少に加え、扶助費などの経常的な支出増加により、平成17年以降年々上昇し、平成20年度には100%を超過しました。

その後、給与の減額などの人件費削減や地方交付税の増加などにより、比率が下がりました。



財政健全化判断比率

平成19年に自治体の財政破綻を未然に防ぐことを目的に、「自治体財政健全化法」が成立し、財政の健全化を判断する4つの指標が、義務付けされました。

各指標には、国の定める基準があり、基準値を超える団体は財政健全化計画などを作成し、その計画に沿った運営を行うこととなります。

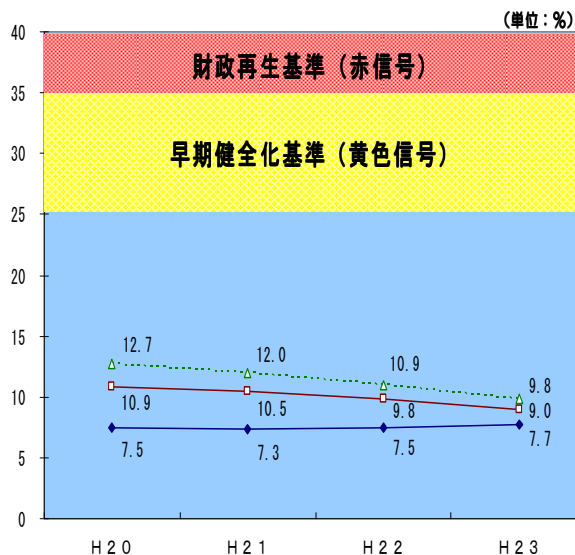
(単位：%)

4つの指標	市数値 (H23)	国の定める基準		説明
		早期健全化基準 (黄信号)	財政再生基準 (赤信号)	
実質赤字比率	—	13.22	20.0	普通会計の赤字の程度を表す指標
連結実質赤字比率	—	18.22	35.0	すべての会計を合算した市全体の赤字の程度を表す指標 (市全体の財政運営の深刻度を示す)
実質公債費比率	7.7	25.0	35.0	借入金の返済額などが財政に及ぼす負担を表す指標 (資金繰りの危険度を示す)
将来負担比率	79.1	350.0	—	借入金残高や将来支払いの可能性のある負担などを、現時点で表す指標 (将来の財政運営の危険度を示す)

※ 実質赤字比率・連結実質赤字比率は、赤字額がない(黒字)ため「—」で表示しています。

▼ 実質公債費比率の推移

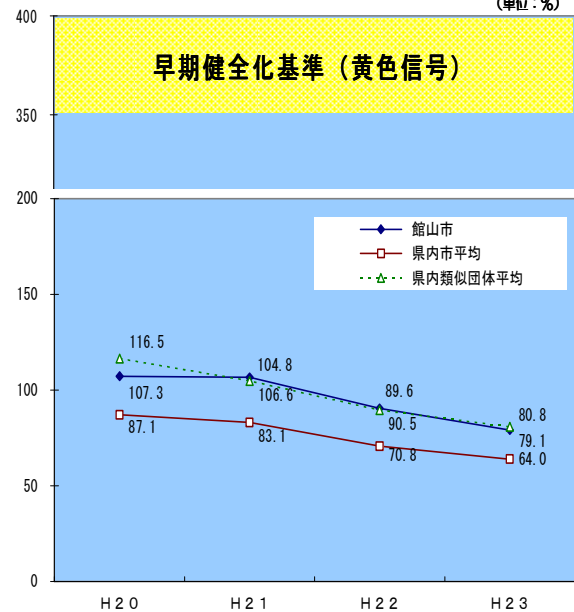
- ◆ 館山市
- 県内市平均
- △ 県内類似団体平均



いずれの指標も、国の定めた基準を大幅に下回っており、県内平均値とほぼ同水準となっています。



▼ 将来負担比率の推移



※ 各種指標の平成23年度数値は、速報値であり確定値ではありません。

9 行財政改革の取組みについて

行財政
改革

❓ 行財政改革とは？なぜ取組みが必要なの？

- ㊦ 現在、長引く景気低迷や高齢化社会に伴う生産人口の減少などにより国、地方ともに厳しい財政状況が続きます。



館山市においても、市税収入が減少し続けるなか、生活保護費をはじめ、国民健康保険特別会計や介護保険特別会計への一般会計からの繰出金など社会福祉関連経費への支出が急激に増加しており、厳しい財政運営となっています。

その一方、市民の皆さまからの要望・ニーズは、ますます複雑・多様化しており、それらの新たな市民ニーズに対しても迅速かつ的確に対応し、市民サービスの向上に努める必要があります。

市では、こうした厳しい財政状況のなかでも市民ニーズに的確に対応するため、より効果的で効率的な行政運営を目指し、各事業の見直しによる支出削減や行政サービスを受ける人に応分の負担を求め収入増加を図るなどの行財政改革を行っています。

「最少の経費で
最大の効果
を目指します！」





これまでの取組み内容とその結果は？

館山市行財政改革プラン

(平成17～21年度)における主な取組結果

《 歳入増加策 》

- ・ 利用目的のない市有地の売却
3億4,734万円
- ・ 適正、公平な受益者負担とするための使用料、手数料の見直し
(ごみ処理手数料の改定など)
2,430万円
- ・ 滞納処分の強化による市税徴収率の向上
1,165万円
- ・ 下水道接続率の向上
1,542万円

《 歳出削減策 》

- ・ 人件費削減 5億4,710万円
(職員数5カ年で47人削減)
(給料・各種手当の削減)
(特別職給与の削減) など
- ・ 一部事務組合(安房郡市広域市町村圏事務組合や三芳水道企業団)に対する補助金などの削減 1億627万円
- ・ 各種団体への補助金削減
1,355万円
- ・ 配食サービス事業における委託内容等の見直し 1,380万円
- ・ 敬老祝金の引下げや高齢者デイサービス事業の廃止 860万円

財政効果額は5カ年合計で約11億円、累積では約26億円となりました。



現在の主な取組み状況(平成22～23年度決算)

《 歳入増加策 》

- ・ 市有財産の売却 4,340万円
(副市長公舎など)
- ・ 公共施設の使用料改定 556万円
(コミュニティセンター・市民運動場などの使用料単価の増額や、光熱水費などの実費徴収など)

《 歳出削減策 》

- ・ 人件費削減 4億1,199万円
(職員数5人削減)
(給料3～5%削減,
各種手当の廃止・削減) など
- ・ 短期人間ドックの補助金引き下げ
625万円
- ・ 生活排水処理施設の休止 602万円
- ・ 市大型バスの運営方法の見直し
448万円

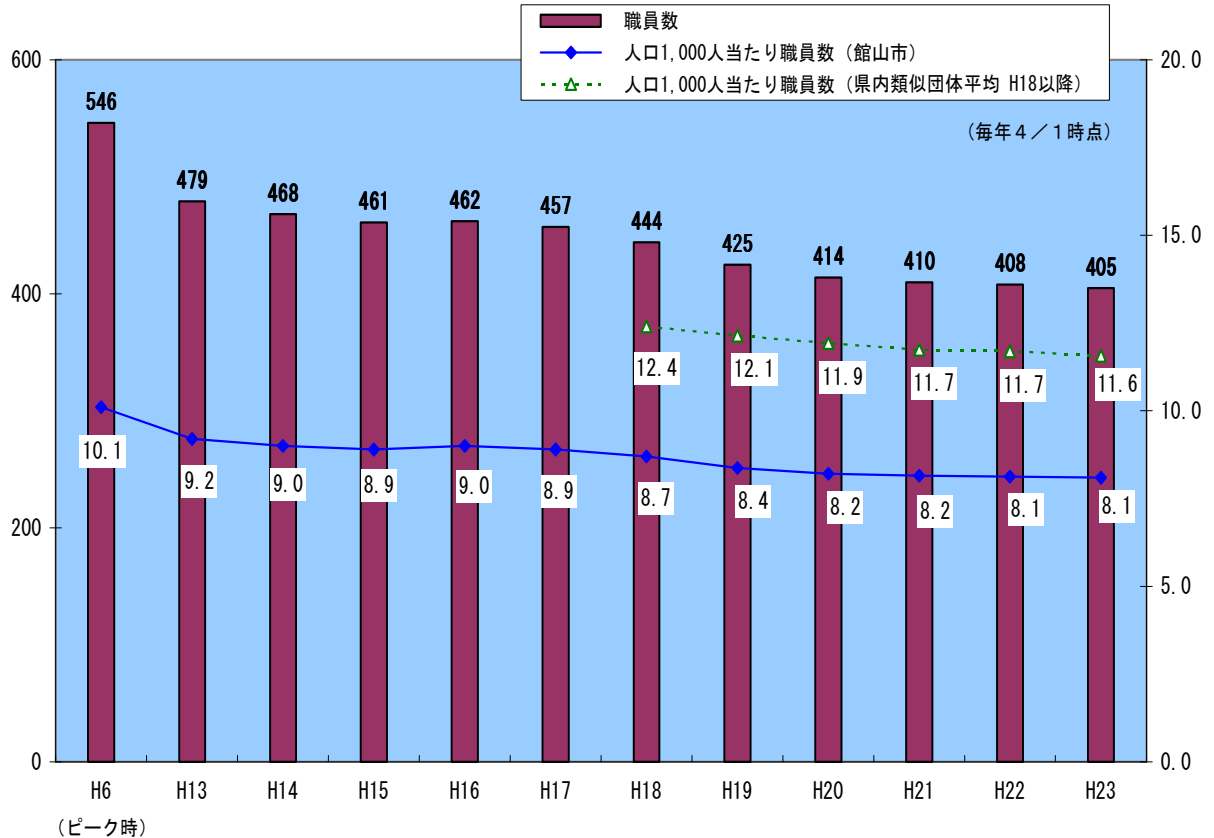
今後も、「各種施設の効率的運営・統廃合・民営化」などについて取組んでいきます。





人件費の削減が大きいけど、 市職員数はどのくらい減らしてきたの？

▼ 市職員数の推移



職員数は、退職者の不補充や業務委託を推進したことなどにより、年々減少しています。ピーク時の平成6年度と比較すると141名（25.8%）の減員となっています。

また、県内類似団体と人口1,000人当りの職員数を比較すると、館山市の職員数は非常に少なくなっていることが分かります。

職員数が少ないことは、人件費に係る支出が減ることとなり、扶助費などの他の行政サービスへ支出することが可能となります。

一方で、職員のマンパワー不足により、きめ細かな行政サービス水準を維持できるのかとのご意見もあるかと思えます。

市では、「最少の経費で最大の効果を挙げる」ことを目標に、今後とも職員一体となり、住みよいまちづくりのため努力していきます。



主な事業

平成23年度 主な事業と決算額

「輝く人・美しい自然 元気なまち館山」
の実現に向け

ここからは、館山市が平成23年度に行った主な事業を説明します。
市の全事業を掲載することは出来ないため、主な事業を抽出して掲載しています。
表の見方は、以下のとおりです。

事業名称と事業実施の担当部署を記載しています。平成23年度の新たな取組みは、[新規]と表記しています。



[新規] ●●●●事業 (△△△課)	
事業費	XXX万円
財源	国 XXX万円
	県 XXX万円
	市債 XXX万円
	他 XXX万円
	市 XXX万円
事業内容の説明文書	

事業実施にあたり、なんのお金をもと（財源）にして、事業を行ったのかを表しています。

- 国 → 国が負担する金額
- 県 → 県が負担する金額
- 市債 → 市の借金によるもの
- 他 → 利用者などの負担によるもの
- 市 → 市が負担（市民の税金などの一般財源）

『健康で安心して暮らすことのできる
まちづくり』のため



防災行政無線整備事業（社会安全課）

事業費	2,176万円	
財源	国	
	県	
	市債	1,490万円
	他	
	市	686万円

デジタル防災行政無線設備を、未整備地域へ5局新設を行うとともに、既存の防災行政無線の保守点検及び屋外拡声子局などの修繕工事を行い、災害時における情報連絡体制及び救援体制の確保を図りました。

防災行政無線設置基数
115基（H23年度末）



自主防災促進事業（社会安全課）

事業費	107万円
財源	国
	県
	市債
	他
	市

自主防災組織が行う、防災機材の購入や非常食の備蓄などに補助し、自主防災組織の充実を図りました。

補助対象：仲町区自主防災会 外8件
補助金額：事業費の2/3以内
（上限20万円）



庁舎（本館事務棟）耐震改修事業（管財契約課）

事業費	5,605万円	
財源	国	
	県	
	市債	5,430万円
	他	
	市	175万円

大地震発生時に来庁者や職員の生命の保護を図るとともに、被災後の復旧活動の拠点としての機能を確保するため、本館事務棟の耐震改修工事を行いました。

平成22～24年度
（3ヶ年事業）



安房郡市広域市町村圏事務組合 常備消防費負担金（社会安全課）

事業費	8億1,576万円
財源	国
	県
	市債
	他
	市

常備の広域消防体制の整備充実を図るため、安房郡市広域市町村圏事務組合が行う消防や救急事業についての館山市負担金を支出しました。



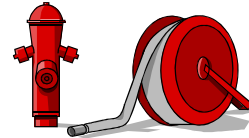
消防施設整備事業 (社会安全課)

事業費	2,724万円
-----	---------

財源	国	
	県	173万円
	市債	1,140万円
	他	
	市	1,411万円

老朽化した消防団ポンプ自動車の配備や消火栓の新設・修繕、消防団詰所の修繕工事などを行い、消防力の充実に努めました。

- ・ 消防自動車購入 1台
(豊房地区消防団)
- ・ 消火栓新設 4カ所
- ・ 消火栓修繕 25カ所
- ・ 詰所修繕工事 6カ所



福祉・医療
子育て編

障害者自立支援事業 (福祉課)

事業費	5億4,241万円
-----	-----------

財源	国	2億6,490万円
	県	1億3,257万円
	市債	
	他	
	市	1億4,494万円

障害者などへ、介護支援や身体機能・生活能力向上に必要な訓練などを行い、地域生活を営むための支援をしました。

※ 障害介護給付費
適用人数 実308人



高齢者福祉団体補助事業 (福祉課)

事業費	1,142万円
-----	---------

財源	国	
	県	226万円
	市債	
	他	
	市	916万円

老人クラブや館山市シルバー人材センターを支援するため、活動費や運営費を補助し、高齢者福祉の向上を図りました。



生活保護事業 (福祉課)

事業費	10億2,261万円
-----	------------

財源	国	7億7,718万円
	県	4,020万円
	市債	
	他	
	市	2億 523万円

生活困窮者に対して生活保護法を適用し、最低限度の生活を保障する保護費の給付を行うとともに、生活指導による、自立助長を図りました。

[生活保護適用]
502世帯 627人



安房郡市広域市町村圏事務組合 保健衛生費負担金 (健康課)

事業費 4,828万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	4,828万円

地域住民の生命と健康を守るため、安房郡市広域市町村圏事務組合へ救急医療に関する保健衛生費を負担し、救急医療体制の確保・充実を図りました。

〔主な内容〕

病院群輪番制病院運営事業
土曜午後・日曜日昼間・毎夜間の病院運営事業を実施



地域医療体制推進事業 (健康課)

事業費 2億 293万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	1億6,500万円
	市	3,793万円

救急医療事業の安定した運営や地域医療体制の整備促進のため、二次救急医療の基幹病院である安房地域医療センターへ、運営費の補助と救急センター建設にかかる事業費の無利子貸付を行いました。



健康診断・予防接種事業

(健康課)

事業費 1億4,362万円

財源	国	182万円
	県	1,943万円
	市債	
	他	729万円
	市	1億1,508万円

乳幼児・学童・高齢者の疾病予防のため、各種予防接種やがん検診などを実施しました。

〔主な内容〕

- ・ 高齢者インフルエンザ
- ・ 三種混合 ・ 日本脳炎
- ・ 子宮頸がん
- ・ 各種がん検診 など



病児・病後児保育事業

(こども課)

事業費 805万円

財源	国	
	県	537万円
	市債	
	他	102万円
	市	166万円

児童が病気の治療中又は病気の回復期にあり、集団保育及び保護者による保育が困難な場合に、一時的に預かり、保護者の子育てと就労等の両立を支援しました。

〔受入施設〕

亀田ファミリークリニック館山



元気な広場運営事業

(こども課)

事業費 1,501万円

財源	国	750万円
	県	72万円
	市債	
	他	
	市	679万円

子育て中の親子の交流，子育て講座，育児相談，情報提供やシニア世代との交流を行い，子育てへの不安解消，児童虐待防止の推進を図りました。

[元気な広場利用者数]

平成23年度
延27,587人



[新規] 「赤ちゃんの駅」設置事業

(こども課)

事業費 120万円

財源	国	
	県	118万円
	市債	
	他	
	市	2万円

子育て家庭が安心して外出できる環境づくりのため，「おむつ替え」や「授乳」ができる設備の整備や民間施設の登録を行いました。

[整備箇所数]

- ・ 公共施設内 25カ所
- ・ 民間施設内 8カ所



子ども医療費支給事業

(こども課)

事業費 8,808万円

財源	国	
	県	4,380万円
	市債	
	他	
	市	4,428万円

小学校3年生までの保険診療に係る費用へ助成を行い，保護者の負担軽減を図るとともに，子どもの保健及び福祉の向上を図りました。

[保護者負担額]

入院1日につき300円
通院1回につき300円
調剤は無料

- ・ 給付件数 延 53,839件



子ども手当支給事業

(こども課)

事業費 7億1,181万円

財源	国	5億4,275万円
	県	8,278万円
	市債	
	他	
	市	8,628万円

中学校修了前までの児童を養育する保護者を対象に手当を支給し，児童の健全な育成や子育てに係る経済的な負担を軽減しました。

[子ども手当額]

月額 10千円～15千円



[新規] 東日本大震災避難者支援事業 (福祉課)

事業費	275万円	
財源	国	
	県	148万円
	市債	
	他	
	市	127万円

東日本大震災による市内避難者に対し、各種サービス（民間賃貸住宅借上げによる応急仮設住宅の提供、生活支援情報の提供、相談業務等）を提供し、避難者の生活の安定を図りました。

- ・住宅借上げ世帯：4世帯



環境・衛生編

水質検査等委託事業 (環境課)

事業費	216万円
財源	国
	県
	市債
	他
	市

市民の健康を守るとともに快適な生活環境を保全するため、環境汚染物質の調査・測定を実施し監視に努めました。

[主な内容]

- ・地下水水質検査（市内19箇所）
- ・河川水質検査（市内3河川）

など



[新規] 放射性物質調査事業 (環境課)

事業費	141万円	
財源	国	33万円
	県	
	市債	
	他	
	市	108万円

東日本大震災による原子力発電所事故の環境への影響を監視するため、放射性物質の検査を実施しました。

[主な内容]

- ・海水検査 4海岸で5回実施
- ・プール検査 16施設で1回実施
- ・土壌検査 19施設で1回実施



住宅太陽光発電システム設置費補助金 (環境課)

事業費	652万円	
財源	国	
	県	203万円
	市債	
	他	
	市	449万円

地球温暖化対策を促進するため、住宅用太陽光発電システムを設置する者に対し補助金を交付しました。

- 補助対象：設置者（個人）
- 補助金額：1kw当たり2万円
上限8万円
- 補助件数：89件



安房郡市広域市町村圏事務組合 火葬場建設事業費負担金 (環境課)

事業費	3,004万円
財源	国
	県
	市債
	他
	市

安房郡市広域市町村圏事務組合が建設する新火葬場の建設事業費の館山市負担金を支出し、事業の推進を図りました。

[新火葬場概要]

南房総市山名地区
延床 2,856.15㎡
平成24年10月
供用開始



安房郡市広域市町村圏事務組合 ごみ処理広域化推進費負担金 (環境課)

事業費	1,503万円
財源	国
	県
	市債
	他
	市

安房郡市広域市町村圏事務組合が実施している、ごみ処理広域化事業の館山市負担金を支出し、事業の推進を図りました。



[ごみ処理広域化事業]

ごみ焼却施設の老朽化により、中間処理(ごみ焼却等)施設及び最終処分場の整備を行うもの



道路新設改良事業

(建設課)

事業費	1億4,174万円	
財源	国	1,235万円
	県	
	市債	9,280万円
	他	1,174万円
	市	2,485万円

生活環境及び道路機能の向上を図るため、市道の改良などに伴う測量・調査・設計や改良・排水・舗装の整備を行いました。

[主な内容]

- 道路改良工事 4路線
- 道路排水整備工事 5路線
- 道路舗装補修工事 4路線



橋梁整備事業

(建設課)

事業費	6,933万円	
財源	国	541万円
	県	
	市債	3,950万円
	他	
	市	2,442万円

安全・円滑な交通機能確保のため、汐入橋人道橋新設工事や橋梁補修工事などを行いました。

[主な内容]

- ・ 汐入橋人道橋新設工事
長さ47.5m 幅3.0m
- ・ 橋梁補修工事
4力所 塗装塗替えなど



船形館山港線道路整備事業

(都市計画課)

事業費 7,687万円

財源	国	
	県	
	市債	2,560万円
	他	
	市	5,127万円

鏡ヶ浦通り（北条・八幡地区）整備事業や、富浦IC付近から鏡ヶ浦通りへアクセスする（仮称）船形バイパス整備の、予備設計などを行いました。

[主な内容]

鏡ヶ浦通り整備 5,245万円
船形バイパス設計 785万円



教育編

小・中学校施設修繕改修事業

(教育総務課)

事業費 2,805万円

財源	国	870万円
	県	
	市債	
	他	
	市	1,935万円

小・中学校施設の修繕・改修・整備を行い、児童・生徒の学習環境の改善を図りました。

- ・小学校 2,148万円
(館野小校舎屋上防水改修 外)
- ・中学校 657万円
(房南中洋式WC設置工事 外)



情報教育推進事業

(教育総務課)

事業費 889万円

財源	国	361万円
	県	
	市債	
	他	
	市	528万円

小学校パソコン教室のパーソナルコンピュータなどを購入し、総合的な学習における探究活動や学習資料の検索などで活用し、児童の課題学習の充実を図りました。

購入台数 87台



児童遊園新設事業

(生涯学習課)

事業費 217万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	217万円

子どもの健全な遊び場を提供するため、那古児童遊園を新設しました。

[那古児童遊園]

面積：1576.6㎡
遊具：滑り台・ブランコ



館山若潮マラソン大会事業 (スポーツ課)

事業費 3,045万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	3,045万円
	市	

「第32回館山若潮マラソン大会」を開催し、市民の健康体づくりやスポーツ観光による地域経済の活性化を図りました。

開催日：
平成24年1月29日
申込数：10,170人



『経済活性化によるまちづくり』のため



農 水
産 業 編

[新規] 地域おこし協力隊事業 (農水産課)

事業費 620万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	620万円

地域農業活性化のため、都市部などから意欲ある人材を積極的に誘致し、地産地消や農業の6次産業化の推進を行うとともに、地域への定住・定着により、農村集落の地域力の維持・強化を図りました。

平成23年度委嘱 2名



有害鳥獣対策事業 (農水産課)

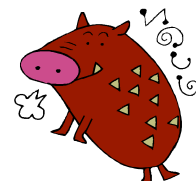
事業費 1,061万円

財源	国	
	県	699万円
	市債	
	他	
	市	362万円

鳥獣による農作物の被害を抑えるため、鳥獣の捕獲事業及び防護柵の設置について支援を行い、有害鳥獣への対応を強化しました。

[主な内容]

- ・ イノシシ捕獲 90頭
- ・ わな免許取得 5名
- ・ 防護柵設置に係る補助 など



農地・水共同（向上）活動支援交付金 （農水産課）

事業費	668万円
財源	国
	県
	市債
	他
	市

農村環境の保全と向上を図るため、地域ぐるみで農地や農業用水等の資源を守る取り組みや、水路・農道などの土地改良施設の補修及び施設の長寿命化のための活動に支援を行いました。



（支援地区 17地区）

稚貝放流事業補助金 （農水産課）

事業費	295万円	
財源	国	
	県	75万円
	市債	
	他	
	市	220万円

市内5漁業協同組合が実施する磯根資源（さざえ、あわび）の保護・繁殖のための稚貝放流事業に対し補助を行い、沿岸漁業の振興を図りました。



補助率：事業費の1/2



商工・
観光編

中小企業融資事業 （商工観光課）

事業費	8,106万円	
財源	国	
	県	
	市債	
	他	7,000万円
	市	1,106万円

館山市中小企業融資などの借入れを行った中小企業者に対して、保証料及び利子の一部を補給し、中小企業の振興を図りました。



〔平成23年度 主な実績〕

- ・ 中小企業融資利子補給金 118件
- ・ 中小企業融資保証料補給金 104件

広域連携事業 （商工観光課）

事業費	993万円
財源	国
	県
	市債
	他
	市

県南地域の他団体（富津市・南房総市など）との連携により、観光客の増加及び滞在時間の延長を目指し、各種キャンペーンやマスコミ関係者へのプロモーション活動を行いました。



観光振興事業

(商工観光課)

事業費 1,369万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	1,369万円

観光客誘致のためのプロモーション活動や受入体制の強化、着地型旅行などの推進のため、民間団体などが行う観光振興に資する事業へ支援を行いました。



[主な内容]

- ・ 館山体験交流協会への補助 250万円
- ・ 民間団体への補助 3団体 385万円

[新規] 新商品開発事業補助金

(商工観光課)

事業費 500万円

財源	国	
	県	
	市債	
	他	400万円
	市	100万円

交流人口の増加による地域経済の活性化を図るため、市内の事業者が連携して実施する、地域食材を活用した館山オリジナルの商品開発事業「館山炙り海鮮丼」について支援を行いました。



(平成24年2月発売開始)

観光施設整備事業

(商工観光課)

事業費 3,309万円

財源	国	1,664万円
	県	146万円
	市債	860万円
	他	
	市	639万円

来訪者が快適に観光地めぐりができるよう、公衆トイレの整備や観光案内表示の整備を行いました。

[主な内容]

- ・ 新井海岸公衆WC建設 2,292万円
- ・ 観光案内板設置事業 786万円



「渚の駅」たてやま整備事業

(みなとまちづくり課)

事業費 6,239万円

財源	国	2,162万円
	県	
	市債	3,130万円
	他	
	市	947万円

交流人口の増加による地域経済の活性化を図るため、「渚の駅」たてやまの整備を行い、平成24年3月供用を開始しました。



(整備事業年度)
平成19～23年



雇 用 ・
経 済 対 策 編

雇用創出事業

(商工観光課 他16課・室 37事業)

事業費 1億9,433万円

財 源	国	
	県	1億9,022万円
	市債	
	他	20万円
	市	391万円

県の雇用対策補助金を活用し、離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者等の失業者に対して、次の雇用までの短期の雇用・就業機会の創出を図りました。



雇用実績人数 88名

[新規] 緊急経済対策事業補助金

(商工観光課)

事業費 1,244万円

財 源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	1,244万円

東日本大震災の影響と福島第一原子力発電所事故の発生に伴う風評被害等により、低迷する消費活動の活性化を図るため、10%のプレミアムがついた商品券を発行し、地域経済の活性化を図りました。



実施期間：平成23年9月1日～11月30日
商品券販売額：1億3,200万円

[新規] 緊急経済対策事業補助金

(商工観光課)

事業費 2,007万円

財 源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	2,007万円

東日本大震災後の観光客の落ち込みを回復するため、館山市観光協会が実施した緊急経済対策事業(たてやま全開プレミアムキャンペーン)に助成を行い、地域経済の活性化を図りました。

[主な実施内容]
特典付宿泊プランの実施
(利用実績：8,238件)



『 財政の健全化と安定 』 のため



納 税 編
そ の 他

[新規] □座振替推進事業 (納税課)

事業費 50万円

財 源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	50万円

徴収率の向上や徴収事務の効率化を図るため、□座振替推進キャンペーンを実施しました。

(実施期間)
平成23年4月～8月

(新規□座振替利用者)
585件増加



ふるさと納税事務 (企画課)

事業費 16万円

財 源	国	
	県	
	市債	
	他	
	市	16万円

ふるさと納税制度のPRに努めるとともに、寄附された方に対し記念品を贈呈し、制度の活用促進に努めました。

[平成23年度実績]
寄附件数：90件
寄附総額：10,534,390円



財政調整基金積立金 (行革財政課)

事業費 6億 233万円

財 源	国	
	県	
	市債	
	他	20万円
	市	6億 213万円

健全な財政運営の確保のため、前年度決算剰余金や地方交付税の増収分などを、市の貯金となる財政調整基金へ積立てを行いました。

[財政調整基金残高]
平成22年度末 4億2,088万円
平成23年度末 10億2,321万円



最後まで、読んでいただき
ありがとうございました。

市の決算状況や皆さまからの税金の使われ方、平成 23 年度において市が実施した主な事業内容などが、わかっていただけましたでしょうか？

市の財政状況を把握するためには、様々な財政指標が数値化される『決算』の内容を知ることが一番だと思います。

市民の皆さまが、市の財政状況に関心を持っていただき、率直な意見を市に寄せて頂くことが、行政サービスをより一層効率的・民主的なものに変え、住民福祉（サービス）の向上につながると考えています。

最後に、今回の『館山市の台所事情』で
“分かりにくかったこと” “もっと知りたいこと”
などありましたら、気軽にご意見・ご質問をいただくと、
次回以降の改善に役立ちます。

みなさまからのご意見をお待ちしております。





館山市マスコットキャラクター

©2010 studio crocodile・館山市

本名	ダッペエ
分類	イヌ（雑種）
由来	房総の方言「～だっぺ！」が名前の由来。
口癖	「ワンワン」ではなく「ペェペェ」と吼える。 喋る時は語尾に必ず「っぺ！」がつく。
家系	里見八犬伝の犬「八房（やつふさ）」の親戚の末裔（まつえい）の知り合いの親戚。
性格	おおらかで適当。房州育ちであれば骨が1本足りない。

オフィシャルホームページ⇒<http://dappee.com/>

館山市の家計簿

（平成23年度決算版）

平成24年9月作成

館山市総務部行革財政課

T E L 0470-22-3291

F A X 0470-23-3115

E-Mail gyouzai@city.tateyama.chiba.jp